

「1世紀に向けた折り返し地点。今後の成長戦略を描きたい」と話すのは、医療、介護用品メーカー・ダイヤ工業（岡山市南区大福）の松尾正男社長（60）。



1963年に設立した同社は1日、

50周年の節目を迎えた。

コルセットやサポーターを主力とし、納入先は整骨院など全国約2万7千カ所を数え

高度医療分野参入目指す

る。指の曲げ伸ばしを補助する人工筋肉内蔵の手袋や全身の動きをサポートする上・下半身一体型の機能性肌着といった独自商品も多い。

昨年から骨の再生を促す補填材ほてんの開発を岡山大と共同で進めており、高度医療分野への参入も目指す。「臨床試験など実用化へのハードルは高いが、将来性が見込める。事業の柱に育て、より高い次元で人の体を支えるメーカーになる」（伊東圭一）